



「大人の役割」

校長 井口 修

ある学級の朝の会、物音ひとつせずシーンとしています。誰もいないのかと思い、そっと見てみると、違いました。日直の子が、懸命にあいさつの声を出そうとしていたのです。隣には担任が座って寄り添い、日直台本を手に持たせています。クラスの子どもたちは、やさしくうなずきながら声を出さずに応援しています・・・。

そして、ついに・・・「おはようございます」・・・かすかな声でしたが、クラス全員に聞こえました。みんなが本気で聞こうとしていたからです。大きな拍手と嬉しそうな日直の子の笑顔。廊下にいた私はシーンときてしまいました。担任は「よくがんばったね。」と、日直の子を全員の前でたたえました。日直の子は、少し照れながら安心した笑顔になりました。

本校の重点教育目標は「思いやりのある子」です。「思いやりのある子」は、友達との関わりの中で育つと思います。子どもが活躍できる役割（今回は日直）を任せること。あたたかい場（皆が静かに見守る）をつくること。その子に合った支援（隣に座る、台本を持たせる）をさりげなくすること。子どものがんばりや成長を本人に伝え（「よくがんばったね」）、意味付けすることが大切だと思います。それが、私たち大人の役割です。

その後、担任は「みんなも応援したから言えたんだよ。みんなもすごかったね。」とクラス全員もたたえていました。教室が、やさしい笑顔でいっぱいになりました。このクラスはもっともっといいクラスになる、と感じました。そして、八小全体でこの感動がたくさん起こせるよう、教職員一同感性を磨いていきたい、と思いました。

最後にお願いです。ご家庭や地域で、お子さんや八小の子の「がんばる姿」や「思いやりのある姿」を見かけましたら、学校までぜひお知らせください。保護者、地域の皆様、学校でスクラムを組み、子どもたちを励まし、育てていきたいです。



5月の生活目標 「人の話をしっかり聞こう」

人と人とが豊かに関わり合うためには、相手の話を聞くことが大切です。話を聞くということは、相手の気持ちや考え方を理解し、互いに尊重し合うための第一歩です。また、友達の考えを聞き合うことによって、学習も深まります。八小では、互いに気持ちよく聞き合えるように、話す人の顔を見て聞く、うなずきながら聞くという態度の大切さも伝えていきます。相手に伝えたい、みんなの考えを聞きたいと思える学校や学級をつくる指導を進めます。

生活指導主任

令和4年度 学校経営協議会委員

井戸 雅子 (会長・放課後子ども教室コーディネーター) 荒川 正教 (副会長・鈴木二郵便局長)
堀井 賢治 (学識経験者・花南中学校長) 新井伸次郎 (鈴木公民館館長)
菊池 桂太 (小平市社会福祉協議会職員) 牛込晴三千 (学校支援ボランティア)
内田 正寿 (みまもりネットワーク代表) 鏑木美知子 (民生委員・児童委員)
眞部 弘 (青少対会長) 林田 良子 (青少対副会長)
山崎 武見 (八小PTA会長) 吉田 博美 (八小PTA副会長)
山口 圭子 (地域教育コーディネーター) 西平ひとみ (地域教育コーディネーター)
小嶋 信夫 (八小副校長) 計 15名

【オブザーバー】井口 修 (八小校長)

【事務局】 加藤 正宏 (主任教諭・CS担当) 市川 昌浩 (主幹教諭・教務主任)
中島 奈香 (都事務)

令和4年度 地域教育コーディネーター

山口 圭子 西平 ひとみ

体力テストについて

【日程】

- ・ 24日 (火) 高学年
- ・ 26日 (木) 中学年
- ・ 27日 (金) 低学年

【持ち物】

- ・ 運動靴 (登校時に履いてきたもの)
※長靴で登校する場合は、運動靴を持たせてください。
- ・ 水筒
- ・ 汗ふきタオル

【アンケートについて】

- 4～6年生は、児童が自分でアンケート用紙に記入します。
1～3年生につきましては、ご家庭でのアンケート用紙の記入にご協力お願いいたします。



特別支援教室『わかば』から



『特別支援教室わかば』では、集団活動への参加、友達関係、人とのコミュニケーションを中心に、苦手な学習や気持ちのコントロールなど、自らの課題の改善や目標に向けて、成功体験を積み重ねながら、グループ学習や個別学習を組み合わせ学習しています。



わかばの巡回指導教員は、鈴木小を拠点校として、三小、八小、九小の各巡回校においても指導を行っています。今年度は、毎週月・木曜日に、巡回指導教員の後藤・柴田・仲田・山本、専門員の百瀬の5名で指導を行っていきます。

どうぞよろしくお願いたします。

